



2018年 明けまして おめでとうございます

昨年中は、大変御世話になりました。ありがとうございました。本年も、宜しくお願
い申し上げます。新年が皆様と皆様のご家族にとりまして、幸多き年となりますよう
にお祈り申し上げます。

国政、地方政治、市民生活、ともに多様な問題が存在し、活動の課題に尽きない日々
が続きます。2017年から連続する日々ではありますが、2018年、新年は時とし
て「新しいアイデア」「変革の年初め」と、予感がします。

昨年 **本庁舎建設**での 松原のりかず質問は 市民の**疑問3点**

今日まで「上限を決めなければ、予算は際限なく拡大しないか？」と質問して来まし
た。回答がないままでした。「特権エレベーター」の記事が大きな話題となりました。
これは、以前から異議が唱えられていました。「市長用のエレベーター」との認識が濃
厚でしたが、新聞見出しは「市長や議員用」と掲載され、議員では不本意な方もいると
思います。

2月24日、半日間、市役所記者クラブで副市長の記者会見実施。「エレベーター前
の扉を撤去」と会見。会見内容は議長にも通知されていない「事後報告」。この点だけ
でも、このエレベーターが「市長や議員用」ではなく、市長には「市長用」と認識され
ていたことの証明となる。

増大する建設費に対し厳しい**市民の目**

「特権エレベーター」について、議員は駐車場からの直接移動も考えられ、エレベ
ーター利用度が低下すると思われる。エレベーター前の扉は撤去されましたが、解か
りにくい位置である事に変化はなく「市長専用」との謗りを免れません。市長コメント
の「市民乗せないと聞いていない」にも、決裁行為を考えますと無理があります。

200億円から254億に膨らんだ新庁舎予算ですが、54億円が増額発表された
直後から「本当に、254億円以内に収まるの？」との質問が相次ぐ。6月議会の服部
議員「上限はいくらですか？」質問に対して、行政部長の金額答弁はないまま終わっ
てしまった。緻密な計画性があれば、答弁はあるはずだが。そして、入札不調となる。

10月17日、無所属クラブと共産党市議団は、市長に新庁舎建設着工見送り申し入れ。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

昨年 **着工見送れ** 申し入れ内容は

- 1 新庁舎建設の平成30年4月着工は見送ること。
- 2 再公告については、その実施時期を見極め、現時地点においては入札不調に至った原因究明にとどめること。
- 3 新庁舎建設見直しの声に耳を傾け、意を尽くすこと。
- 4 来年度（平成30年度）予算編成は骨格予算とし、新庁舎建設関連経費も盛り込まないこと。 私どもは、申し入れました。

現市長の任期は新年（2018年）2月23日であり、高額新庁舎の建設計画は、新市長に意見を聞かないまま進められる事になる。それは、**行政の継続性から極めて問題**であり、市民の理解も得られない。退任前に**現市長の行なうべきは、東部クリーンセンター事故の裁判であり、メディアコスモスの雨漏り解決**である。

そこで以下 **市民の疑問3点**（松原のりかず質問）細江市長に伺います。

- 1 いわゆる「特権エレベーター」については、色々な機会に、その撤去について申し入れをして来ましたが、不調の機会にも見直すべきと言って来ましたが、なぜ、減額対象とされないのか。
- 2 当初の200億円が、見直されて254億円、入札不調となり15億円の増額提案がされていますが、関連する道路等の予算はいくらか。新築の新庁舎に入る机、イス、ロッカーをはじめとする事務関係設備、什器類等の明らかにされていない費用はいくらか。
- 3 市長の任期が2月23日にせまり、市長選挙は新年1月21日告示、28日投票と予定。総額300億円にもなろうとする巨大プロジェクトを、新市長の意見を聞かぬまま実行される事は「やめてほしい」と言うのが市民の声だ。資材高騰のオリンピック時期を避けて、建設すべきと考える、見解は。



松原のりかず
☎058-253-2500